

かわにし

広報かわにし

No.552

平成16年8月10日



手を携えて新市へ 合併協定調印



人口の動き
—8月1日現在—
男 3,976 (+5)
女 4,038 (+10)
計 8,014 (+15)
世帯数 2,282 (+1)
() は前月比較

特集 合併いよいよ秒読みへ…2
喜寿の祝い…10
まちの話題…12

十日町市 川西町 中里村 松代町 松之山町 合併協定調印式



署名した調印書を披露する5市町村長と県副知事

特集

合併いよいよ秒読みへ

真剣に考えよう合併について—— 34

市町村合併の動きが加速度的に展開しています。

7月23日に五市町村長が合併協定書に調印した後、28日には5市町村の議会で配置分合の議決が行われ、これを受けて、8月5日には五市町村長が県庁に出向いて平山県知事に合併申請（配置分合申請）を提出しました。

これとは別に、住民による署名活動や住民投票条例制定の請求も行われ、津南町、中里村、松之山町では三町村による合併協議会設置を求める活動も展開されています。

それらの流れを追ってみました。



署名する山本中里村長（左）、田口町長（中）と滝沢十日町市長（右）

五市町村長が合併協定に署名

十日町広域圏合併五市町村では七月二十三日、合併の協議が調ったことから合併協定調印式を開き、五市町村長が合併協定書に署名しました。

調印式は十日町クロステンで開かれ、調印立会いに川上忠義新潟県副知事を迎え、近隣市町村長、五市町村の議会議員、合併協議会委員、さらに各種団体



あいさつする
田口町長



長や行政事務嘱託員など約四百人の出席の中で行われました。当初出席予定だった平山県知事と地元選出の上村・村松・尾身の三県議は、七月中旬に発生した中越地域を中心とする集中豪雨災害対応のため、ともに欠席しました。

式典ではまず、押木川西町助役が開式の辞を述べた後、滝沢十日町市長が、「新市の名称問題や住民への理解不足など様々な問題もあったが、二十数回を数える協議の中で大勢がまとまり、今日の日を迎えることができたことに感謝したい。今後は地域自治組織など残された課題を解決して、来年四月一日の合併を目差したい」とあいさつしました。

続いて関谷十日町市助役が合

併協議の経過報告を行い、立会人及び来賓紹介の後、五市町村長自署による合併調印が行われました。

未来志向で新市をつくる

調印の後、四町村長があいさつし、田口町長は、「新しい地域づくりのスタートに立った。地方が元気になるために、中央集権から脱皮して分権型社会へ移していかなければならない。それぞれの地域が得意分野を伸ばして地域活動を活性化し、住民が地域内自治を進めるための力をつけることが必要だ。現実を直視し、過去を引きずらず未来志向で新市一丸となつて歩みたい」と述べました。

次に山本中里村長は、「この調印により、地域活性化の土台ができた。様々な不安はあるが、夢のある地域にするために、地域の人たちが自ら考え自ら実践していく社会にしていきたい」と述べ、関谷松代町長は、「合併を進める上で、上越地域と十日町地域二つの選択肢があったが、住民の意向調査などの結果この組み合わせとなった。合併してよかったという新市にした」と希望を語りました。

最後に、病気療養中の佐藤松之山町長の職務代理者である小

野塚松之山町助役が、「合併は目的ではなく住民生活向上のための手段だ。福祉や教育など増大する住民ニーズにだけ応えていくかが重要だ」と結びました。

その後、祝辞・祝電披露に続き、五市町村議会議長による万歳三唱が行われ、押木川西町助役による閉式の辞をもって式典を閉じました。

合併の期日は来年四月一日

調印式の中で、合併の期日は平成十七年四月一日、合併の方式は新設合併であることが改めて報告されました。来年四月一日には、人口六万五、〇三三人（平成十二年国勢調査）の新生



会場を埋めた参加者

「十日町市」が誕生することになります。

新市の状況

人口（平成 12 年国勢調査）			65,033 人
面積			592.07 km ²
産業構造別就業人口 （平成 12 年国勢調査）	第1次産業		4,741 人
	第2次産業		13,587 人
	第3次産業		16,785 人
保育施設	保育所		33 所
	小中学校		32 校
	中学校		10 校
	高等学校		5 校

町議会で市町村の配置分合議案が議決

市町村の配置分合は、県知事に申請しなければなりません。申請にあたり町議会の議決を経ることが必要です。

このことから、七月二十八日、町臨時議会が開かれました。先に行われた合併協定調印を踏まえ、市町村合併関連五議案が提案されたもので、すべて全員賛成により可決されました。

可決された議案は次のとおりです。



配置分合についての議案
は全員賛成で可決

○十日町市、中魚沼郡川西町、同郡中里村、東頸城郡松代町及び同郡松之山町の配置分合について

○十日町市、中魚沼郡川西町、同郡中里村、東頸城郡松代町及び同郡松之山町の配置分合に伴う財産処分に関する協議について

○十日町市、中魚沼郡川西町、同郡中里村、東頸城郡松代町及び同郡松之山町の配置分合に伴う議会議員の定数の特例に関する協議について

○十日町市、中魚沼郡川西町、同郡中里村、東頸城郡松代町及び同郡松之山町の配置分合に伴う農業委員会の選挙による委員の任期に関する協議について

なお、同日、他の四市町村でも同じ議案が上程され、十日町市が一七対二、中里村が九対四、松代町が一三対一、松之山町が六対三の賛成多数でそれぞれ可決されました。

県知事に配置分合を申請

七月二十八日の五市町村議会で合併関連五議案が一斉に議決

されたことを受けて、八月五日、五市町村長は県知事に配置分合の申請を行いました。

今後、県知事は総務大臣と協議を行い、県議会に提案します。県議会の議決により合併が決定し、決定をしたときは直ちにその旨を総務大臣に届けなければなりません。総務大臣は県知事から合併の届出を受理したときはその旨を告示します。この告示によって合併の効力が生じることになり、その時期は十一月ごろが予定されています。



平山知事に配置分合申請書を手渡す滝沢十日町市長と四町村長

住民投票条例は否決

これらに先立ち、六月十八日付けで、請求者から川西町が十日町市、中里村、松代町及び松



住民投票条例制定の議案は賛成少数で否決されました

之山町と合併することについての可否を問う住民投票条例制定請求がありました。

この請求を受けて七月七日、町長は「新市建設に向けて準備を進めており、十日町広域圏五市町村の枠組みで合併の協議を進め、より良い新市を目指すことが最優先であり、現時点では条例の制定は考えられない」という意見書をつけて町議会に付議しました。

町議会では七月十二日、申請人の意見陳述を聞いたうえで採決に入り、その結果、賛成三、反対十四でこの住民投票条例案は否決されました。

また、五市町村の枠組みとは



赤谷集落センターでの懇談

別に、津南町、中里村、松之山町の同一請求による合併協議会設置を求める住民投票の直接請求もあり、有権者の六分の一をはるかに超える署名簿提出による今後の動向が注目されています。

住民懇談会が終了

一昨年、昨年に続き四回目となる住民懇談会が開催されました。今回の懇談会は、合併調印前に合併協議の内容、今後の地域づくりなどについて住民の皆様に説明し、意見交換を行うために開催されたものです。

住民懇談会は七月十三日から

住民懇談会の開催状況

会 場	開催期日	出席者数	説 明 内 容
赤谷集落センター	7月13日	22人	①これまでの経過と今後の予定 ②合併協議会における協定事項 ③新市建設計画の概要 ④合併後の行政機構と地域自治について *詳しくは、7月20日に全戸配布した「みんなで考えよう市町村合併」をご覧ください。
山野田公民館	7月14日	12人	
高原田公民館	7月15日	14人	
上野コミュニティセンター	7月17日	14人	
活性化センター	7月18日	14人	
仙田コミュニティセンター	7月18日	23人	
橘地区農事研修センター	7月19日	26人	
新町新田ふれあいセンター	7月20日	25人	
高齢者コミュニティセンター	7月21日	14人	
合 計		164人	

二十一日まで、赤谷集落センターを皮切りに九会場で開催されました。説明内容、出席者の状況は次のとおりです。
各会場での質問、意見等は、後日「合併の風」でお知らせする予定です。

新市の市章を募集！

新しく誕生する「十日町市」の市章を制定するため、デザインを募集します。

新しく誕生する「十日町市」の市章を制定するため、デザインを募集します。

【募集する市章の基準】

- 「夢を耕しつづける感動と創造のまちづくり」自立した市民の知恵と協働」というまちづくりの基本理念を掲げて実現していく、新生「十日町市」が目指す将来の姿「雪・自然・農が織りなす温もりと躍動の大地（まち）」にふさわしい市章であること。
- 市旗やバッジ等にも使用できるデザインであること。
- 用紙の地色を含め四色以内とする。なお、グラデーションは不可とする。
- 自作の未発表作品であること。
- 他市章及び他商標等と類似しないものであること。

【応募方法】

- 応募資格は問いません。同一人の応募は三点までです。
- 募集期間は八月五日（木）～九月二十三日（木）
- 応募用紙は、専用の応募用紙又は縦横十五センチの枠を書いたA四サイズの白色用紙を縦長に使用し、用紙一枚につき一作品とします。
- 応募にあたっては、「市章」のほかに「デザインの趣旨（一五〇字以内）」、応募者の「住所」及び

「氏名」を記載してください。

- 応募方法は、郵送又は持参に限ります。

【賞金】

- 最優秀賞（市章採用作品）
一点 賞金 十万円
- 優秀賞（市章候補作品）
四点以内 賞金 一万円

【選定方法】

協議会の「新市の市章選定委員会」において、応募作品の中から市章候補作品五点以内を選定します。その後、住民アンケートを経て、協議会で採用作品一点を決定します。

【発表】

ホームページや広報紙等で発表するとともに、入賞者に通知します。

【著作権】

採用作品に関する一切の権利は、協議会及び新生「十日町市」に帰属します。

採用作品の使用にあたっては、作品に若干の変更を加える場合があります。また、モノクロとする場合があります。

応募作品は返却しません。

【応募先・問合せ先】

十日町広域圏合併協議会事務局
所在地 千九四八・〇〇八五
十日町市寅甲一番地一
旧織物会館二階
☎ 0257・52・7725

お寄せください あなたの 意見・提案・質問

されるようだが、地元商業（商店）活性化に向けての支援にいても同様の配慮をしてほしい。

〈振興計画の策定を〉

A. 地元商店街が経済不況や商圏域の構造変化などで厳しさを増すなか、平成八年に町が策定した「第五次川西町総合開発計画」に「新しい賑わい空間の創出」という形で地元商業の振興策が提案されました。

以来、「新しいまちなかづく

り」として住民・地域・商工会・行政などが多面的な検討・ワークショップを何十回と重ね、その結果、平成十一年に町が「中心市街地活性化基本計画」を、平成十二年には町商工会が「川西町中小売商業高度化構想（TMO構想）」をそれぞれまとめ上げました。

賑わい空間内での事業は、すべてこの計画、構想等に基づくもので、各事業主体がその責任（資金等）で取り組んでいます。ご質問の施設も、JAが町の農業振興と地域の活性化という公

チラシが豪華すぎる

（67歳・男性）

Q. 最近町から配布される印刷物は各課で競争しているのかと思うほど色刷りの大判のものが多く、費用対効果の面で疑問た。過度に豪華なものは必要ないのではないか。

〈極力広報等でお知らせします〉

A. 毎月三回町政事務嘱託員を

通じて各世帯に配布される文書等は、町の広報や公共的団体の機関紙、催しや募集についての案内チラシが中心となっています。当然対象となる文書等は行政目的、あるいはこれに準ずるものに限られ、一般のチラシ等とは明確に区分されるべきものです。

各課等には、お知らせ的なものは原則として広報及びお知らせ版に掲載するように指示をしているところですが、発行日が限定されていることや周知効果の面から、独自のチラシを作って配布している場合もあります。しかしご指摘のように、新聞折り込みチラシのように派手さ豪華さで目をひくことに主眼が

移ってしまつては、公共目的の文書等としては本末転倒となつてしまします。

今後、町で発行するものもとより、他団体からの配布依頼文書等についても、極力広報やお知らせ版により周知をはかるよう依頼するとともに、あまり華美なものは控えるよう呼びかけていきたいと思っています。

モトクロスの模範走行を

（84歳・男性）

Q. モトクロス関係者は暴走族のように考えていたが、意外とマナーが良く、若者に賛辞を贈りたい。

モトクロスの開催に際しては、規律正しい模範走行による町内デモンストレーションを、競技参加者全員により行つてほしい。

〈関係者に働きかけます〉

A. ご提案された内容を拝見しますと、昨年七月に当町で開催されたジャパンエンデューロ大会の際のデモンストレーションランの風景を想定してのことかと思われる。

確かに大勢のライダーがバイ

商業支援を充実して

（46歳・男性）

Q. 賑わい空間整備に伴い、農業対象の施設には補助金が交付

町では、皆さんのご意見やご提案をまちづくりに生かしていきたいと、「まちづくりについての提言や意見・質問」をいただいています。

これまでに届いたものの中から、紙面で紹介する必要のあるものを、内容を抜粋してご紹介します。



にぎわいの場づくりには農と商の連携が重要となります

益目的で建設しています。ご理解をお願いいたします。

次に、町の支援についてですが、町は厳しさの中にあっても懸命な努力を惜しまない地元商店街には、可能な限りの支援を行いたいと考えています。

ですから、まずは関係の皆様が地域の理解を得られる着実な商店街の振興計画等を、商工会と連携するなどして策定されますようお願いいたします。

クを連ねて走行する姿は、勇壮かつすがすがしいものがあり、沿道の町民からも大きな声援を受けていました。それまでのライダーのイメージを変えられた方も多いことと思います。

今後このような大会が開催される際には、是非、その走行の実現について、主催者側に検討を促していきたいと考えています。



昨年のジャパンエンデューロでのデモンストレーションラン

加工米対策に疑問

Q. 今年から加工米対応が変わったが、いくつか疑問がある。

①JAが低価格米等をブレンドして出荷し、米生産者が応分の負担をしていた従来方式を止め、個人対応としたのはなぜか。

②コシヒカリは、加工用米価格（八、〇〇〇円／六〇キロ）と一般に販売した場合の価格差が三倍以上もある。差額を補填してくれるのか。

③出荷された加工用米が別ルートで販売され、差額で利潤を搾取されるおそれはないか。

〈米政策改革の流れに〉理解を〉

A. ①主要食料の需給及び価格の安定に関する法律の一部改正が今年四月一日付けで施行され、計画流通制度が廃止された。これにより、自主流通の中の加工用米という位置付けや、計画流通の流通ルートを通じて需要者へ供給されるというシステムが、制度上なくなりました。

このことから、生産調整実施者から全農等に至るまでの加工用米の流通段階の確認が必要に

なり、報告義務も生じています。

また、今回の米政策改革により、生産調整の方法が転作面積の配分から生産目標数量の配分になり、加工用米の確認方法も、出荷数量のみで行えた従来の方法から、個々の水稻作付面積を基準単収を基に換算して生産数量を求め、その数量から出荷された加工用米の数量を差引き、その数値と生産目標数量とを突合するという、大変複雑な方法に変更されました。

このためには、作付面積や地域別の基準単収、生産数量を関連付けた算出根拠を設け、拠出金を算定する必要があります。

さらに、今年産加工用米からは生産履歴の記載並びに提出が求められており、従来方式では、これら処理するための事務量は膨大なものとなってしまっています。

以上のことから、本年度から加工用米は、申し込みのあった方にのみ配分する契約栽培の形式をとらせていただき、出荷は加工用米の現物（玄米）出荷とさせていただきます。ご理解をお願いいたします。

②水田機能の維持を目的とした場合、個人対応による加工用米の取り組みは、団地化や土地利用集積を実施できない中山間地においてはとても有意義だと

少しでもいい米
を作りたいのが
農家の心情



考えています。しかし、同じ魚沼コシヒカリでありながら、加工用米として出荷した場合の価格差が非常に大きいことも事実です。

産地づくり交付金による「作付面積に応じた助成」につきましては、加工用米出荷数量を基準単収により換算して求めた面積に対し、一〇アール当たり東部地域では一七、五〇〇円、西部地域では一六、七〇〇円の助成を行います。価格差を考えますとわずかな金額ではありますが、趣旨をご理解いただきたいと思います。

なお、平成十六年度の加工用米契約数量はコシヒカリが八割を占めています。これは、生産組織等への加入率が高くコシヒカリの作付面積が約九六%を占めている川西町では、三〇アール規格のは場の一部に加工用米用の別品種を作付けすると、品種が混合する危険性が高く作業効率の低下にもつながることから、このような数値になったと思われる。

米政策改革により、今後は「売れる米産地」へ多くの生産目標数量が配分されることとなります。加工用米を調整水田や保全管理等の不耕作地解消への取り組みの一環として位置付けていますので、ご協力をお願いいたします。

③加工用米の取扱いについては、全農等が取組計画書を農水省に提出し、認定を受けた後に、需要者と流通契約を結ぶこととなります。また、加工用米の流通状況についても国に対し報告を行うこととなり、生産者から出荷された加工用米は、認定を受けた取組計画に基づいて加工されます。

したがって、認定取組計画以外の流通は行うことができないシステムであることを、ご理解願います。

現在、私たちの身のまわりには、部落差別が依然として厳存しています。差別事件はあとを絶たず、いまだに制度的保障を受けられない同和地区もあります。差別肯定の考え方も広く存在し、人権思想・権利意識も正当に定着しているとはいえないのが現状です。

川西高校では人権教育を推し進めるうえで、七月十四日の放課後、県人権同和センターの佐藤泰治先生を迎えて、職員を対象にした同和教育研修会を行いました。

講演では、まずいくつかの事例をあげて、現在も続く差別の現状についての紹介があり、多くの差別事件で傷ついた人がいること、また、都市計画から取り残されたような町並みで不便な生活を強いられている人達がいるという実態が紹介され、改めて同和教育の重要性を考えさせられました。

今回の講演で印象的だったのは、「なぜ差別が起こったのか」という根本的な疑問に答えるお話しがあったことです。豊富な歴史的資料・史料にもとづいて、最新の研究結果をお話しい



ただき、被差別部落の出自は簡単に一つにまとめられるものではなく、かつては決して差別されてきたわけではない、むしろ人々の生活に欠かすことが出来ない重要な役割を果たしていた人々であるということが明らかになっていくことを知り、私たちの偏見や知識不足を感じました。

人権擁護と民主主義実現のための啓発が強力に展開される一

方で、部落差別がいまなお克服されない現状を私たちが正しくとらえ分析することによって、同和問題を解決する方途を見出だすことが、今日の課題であるといえます。

私たち職員は、同和問題がデリケートな問題であるため、授業でとりあげることに、つい臆病になってしまいがちなところがあります。

職員が「わからない」ということは「解ろうとしない」こと、「準備を十分にしてから」というのは「いつまでも実践しないための口実である」と指摘され、大いに反省させられ、学校教育における同和教育の重要性を認識させられました。

偏見・差別をなくし、すべての人が住みよい社会にするために少しでも手助けができるように、今後もこうした研修を積極的に推し進め、同和教育に取り組んでいきたいと思っています。

チームアップ 役田場 39

実力で
つかんだ
優勝!?



誇らしげに優勝旗を広げる役田野球部の主力。

ベナントには「第十七回新潟県町村職員親善野球中越ブルック大会優勝 川西町」と墨書されています。

やった、川西町役場初の快挙、野球部の中越大会優勝！しかし、よく見ると優勝旗を広げている場所はグラウンドではなく事務室、職員のユニフォームには激戦を物語る汚れも見えませんが後方に写っている職員も、あえて祝福する様子ではありません。実はこの優勝、七月十三日

から県内で猛威をふるった豪雨がもたらしたものの。雨による被害が中越地区に集中したため、試合そのものが中止となりました。そこで、抽選により優勝チームを選出することとなり、わが川西町が見事？優勝くじをつかみ取った次第です。

「これも実力のうち」とは、ある職員の弁。被災地区の代表として、県大会でもその実力を存分に発揮してほしいものです。

なお、県大会は本紙発行日の八月十日です。

子を偲ぶ大榎

小白倉から柏崎へ抜ける峠の頂上に、大きな榎が立っていて、榎峠と呼ばれていたことは、別に述べた。

榎峠から北へ尾根伝いの道を歩いて大沢峠があり、ここから西へ下って大沢集落に着く。峠の上り口にある大沢は、茶屋があつて上り下りの旅人たちがひと息つくところで、ちよつとしたムラであつた。小白倉までの道のりは、およそ九キロ余。昔の山道だから、一〇キロにもなつていたかもしれない。

大沢（現柏崎市）の伝右衛門どんから白倉へ婿入りした人がいた。黙ってコツコツ働く若者であつたのだが、義父母たちのあまりにもひどい仕打ちにとうとう我慢しきれなくて、三人の子どもを残して、家を出た。

真ッ暗な道を峠まで登って白倉の方を振り返ると、ちようど朝日が昇るところだった。

置いてきた子どもたちは、まだ父親のいなくなっていることなど知らずに、ぐっすり眠り込んでいるのだらうと思うと、どつと涙があふれてきて、抑えきれずにオッオツと声をあげて泣いた。

実家へ帰った後にも、子どものことを思い出さない日がなくて、丈夫で幸せになるよう祈り

ながら、三本の榎の苗木

を峠の道際に植えた。二

本は枯れてしまったが、

残りの一本はすくすくと

成長して大木になった。

大榎は遠くからもよく

眺められ、旅人の元気を

出す目当てにもなつて、

いつのころからか榎峠と

呼ばれるようになった。

峠には茶屋があり、毎日大沢

から登ってきた主人が気持ちの

いい応対をしていたし、その前

には二十三夜様が祀られて、赤

い旗が立てられていたと語られ



榎峠に立つ道しるべ地藏

残をとどめている。

隠如が救った藤沢

藤沢が、まだ藤井の里と呼ば

おらムラの話

(第四十回)

上野 上村政基

る。

中魚沼郡と刈羽郡・柏崎を結

ぶ大切な街道であつたが、大正

年代になつて別なところに鉄道

が敷かれ、自動車も走るように

なつて、峠越えの道は忘れられ

てしまった。

大榎も、残念なことに樹勢に

衰えを見せるようになり、さら

に昭和二十七年の落雷で痛めつ

けられて、五月に刈り倒された

が、目通り五メートル余の大木

であつた。

いま、古い道際に、道しるべ

れていたころ、四百年も前のこ

とだというが―。

桜沢にある大池は、平素は波

ひとつ立たない死んだような池

で、村人たちはたいへん気味悪

く思っていた。

嫌な音が地をほうように響い

てきた後には、きまつて大雨が

降り、沢沿いに開いた田に不思

議な足跡のようなものがあつた

り、光る鱗のようなものが落ち

ているのを見た人もあつた。竜

が池の主になつて住みつしてい

るのだと、考えられていた。

これでは、毎日毎日が恐ろし

くて、折角開いたムラも捨てな
ければならないと心配している
話を、修行の旅を続けて仙田郷
へ入ってきた隠如という山伏が
耳にした。

隠如は、これまでの修行で身
につけた法力で、池の主を追い
出そうと決心し、山に横穴を掘
って入り、断食をしながら懸命
にお経を読み祈禱を続けた。

満願の二十一日目の夜明け前
に、突然あたりが真ッ暗になつ
て大風雨となつた。

さては、池の主が最後の力を
振り絞つて向かつてくるのか
と、隠如も負けずに読経の声を
高め、必死の祈りを続けた。

すると、ものすごい響きをあ
げて池の土手が崩れ、水が洪水
川に向かってあふれ出した。竜
は、稲妻のように目を光らせ、
火を吐きながら天へ昇ろうとも
がいていたが、とうとう力尽き
て倒れた。

隠如は、悪竜に勝つたことを
ムラ人に告げようと、法螺貝を
吹き鳴らし、千手峠目指して駆
け登ってきたが、自らも力尽き
て倒れ、息が絶えた。

藤沢地内には、「桜田・堂ノ
背・登り立・吹上」と呼ぶ一連
の地名があつた。

それぞれが、池の跡、竜の倒
れていたところ（胴ノ背）、隠
如が駆け出し貝を吹き立てて登
ったところであると伝え、峠を

越えた千手（中屋敷）地内には
隠如を祀った「院入塚」がある。
悪竜は道に胴を横たえて倒れ
ていた胴ノ背の近くに埋められ
たのだが、そこから清水が絶え
ることなく湧き出して人々の役
に立つたので、蛇骨の清水と呼
んだという。

池の跡はその後見事な耕地と
なり、その傍らを通る道は千
手・藤沢・室島・頸城を結ぶ街
道となつて、蛇骨の清水は旅人
たちののどをうるおし、樽を背
負つて水もらいに来る人まであ
つたと語られている。



かつて大池だったという桜田

藤沢集落が閉村してすでに長
い。しかし、ムラを救つた「隠
如さん」物語を大切に語り伝え
てきた人たちの、暖かい感謝の
心は、いつまでも残していき
たい。

※本稿は、茂野寅一・宗平
『藤井の里』を参考にした。

仙田地区



上野地区



喜寿の祝い

【町内順に掲載 敬省略】

※七月九日現在

■千手地区（三十七人）

発電所通り西
発電所通り東

南台 栄町 朝日町 四郎兼寺 東善寺 平野誠 平野光 喜多野 喜多野 喜多野 野上由二 風間政夫 高橋シヅ 田辺カミ 中央町

■上野地区（十八人）

中央町 田中町 神田町 学島町 木島町 美咲町 沖立町 伊友町 高田 坪山 霜条 上野 上野 星名ア 上村ア 渡辺義 星名ノ 富井初 富井昭 富井平 川崎喜 川崎辰 押木辰

七月九日に、千手温泉千年の湯で喜寿の祝いが開かれました。今年、喜寿のお祝いを迎えられた方は一〇二人。昭和二年四月二日から昭和三年四月一日までに生まれた方が対象です。当日は六十八人の方が出席されました。

千手地区

橘地区

小	大				岩				赤				田	高	小		室												中
〃	白	〃	白	〃	〃	〃		〃	〃		〃	〃				〃	〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	仙
倉	倉						瀬		谷				戸	倉	脇		島												田
田	江	中	片	登	小	中	中	登	小	長	押	青	青	高	斎	増	半	増	小	小	高	小	小	木	小	小	高	橋	
中	口	村	桐	坂	川	條	林	坂	川	谷	木	木	木	橋	木	田	田	田	川	川	橋	林	林	村	林	林	橋		
好	清		タ	フ	忠	マ	キ	ナ	ヤ	久	良	信	松		周	準	利	福	芳	フ	由	キ	栄	昭	リ	ト	マ		
美	野	晤	カ	ミ	良	キ	ヨ	ホ	ス	子	造	作	枝	静	次	一	登	司	明	ノ	一	ノ	作	一	ヨ	ヨ	ヨ		

JAしあわせ組織 「かがやきサロン」が オープン

七月三日、JA十日町千手支店二階において「かがやきサロン」開所式が行われ、約五〇人が参加しました。これは、地域のお年寄りに毎週土曜・日曜を楽しく過ごしてもらいたいと設立された、JA女性部しあわせ組織によるささえあい事業によるもので、現在約七〇人が会員登録をしています。

来賓の今井康子さん（上越市デイサービスセンター「なごみの家」理事長）は、「家にばかりいるのではなく、外に出ることでオシャレ心が生まれま



またひとつ仲間づくりの輪が増えました

とどけ！折鶴 希望と幸運を乗せて・カナダへ

7月19日、橘小学校体育館で折鶴作りのイベントが行われ、約50人が参加しました。

これは、昨年橘地区において「地球軸のパフォーマンス」を実施した縁から、今年9月17日にカナ

ダのバリー市で行われる『「地球軸のパフォーマンス」バリー・2004』の成功を祈念して、「希望と平和の象徴」とされる折鶴を作ろうという趣旨で実施されました。

「次はどうするの？」とお母さんから折り方を習う子どもの姿や、「懐かしいよね」と楽しそうに作業するお母さんたちの姿、また、汗を拭きながら四苦八苦するお父さんたちの姿が印象的でした。

出来あがった千羽鶴は、バリー市で展示されるとのこと。みんなの気持ちが折鶴と一緒に届くといいですね。



みんな黙々と作業をします



千手中央コミュニティセンター完成予想図

千手中央 コミュニティセン ター起工



刈初めをする田口町長

七月二十二日、千手中央コミュニティセンターの起工式が、総合センターに隣接する建設地で行われました。このコミュニティセンターは、平成十年度から検討された「賑わい空間創出事業」のワークショップの中で総合センターの改善問題としてクローズアップされ、検討が重ねられました。そ

の結果、文化活動や生涯学習活動の成果を表現できるホールと、コミュニティや公民館活動の拠点としての機能を併せ持った中核施設をまちの中心部に作り、いつでも、だれでも、事由に楽しく学べる場として整備することとなりました。賑わい空間の中核施設としては最後のものになります。

施設の概要としては、現在の総合センターを全面改修し、南側にホール等を新設するもので、建築面積は一、七〇九・五八平方メートル、建築延べ面積は三、六二六・四七平方メートルで、鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上三階、地下一階となっています。

一階は、可動席一八七、補助席を含めると二三八席となるホールを中心に楽器庫や楽屋、ロビー、事務室、会議室、住民活動室などからなり、二階は、防音練習室や調光室、親子室、調理室、和室、集会室などからなり、主に活動のための機能があります。三階は、図書室、ＩＴ教室、子ども図書室で、子どもたちを中心とした学びの場となります。

総事業費は一一億三、四〇〇万円で、そのうち、三分の一をまちづくり総合支援事業（国土交通省所管）の補助金でまかいます。

しゅん工は平成十八年の二月で、同年四月から稼働する予定となっています。

今年もキラリフェスティバル大盛況



迫力あるよさこいソーランが展開されました

七月二十五日に仙田体験交流館で第三回キラリフェスティバルが開催され、約三、五〇〇人が訪れました。

山笠フリスビーや恒例の屋台村など楽しい催しがいっぱいで、金魚すくいに集まる子どもたちや、おいしそうにかき氷を食べる親子連れなどの姿があちこちで見られました。

また、「おらごこのよさこい祭」では、十日町市や松代町、小国町など、七町村八団体が出演しました。それぞれ衣装、踊りともに年々レベルアップし、観客を魅了していました。

小さな子どもから六〇代までが一つになつて踊る姿は、真剣さと楽しさが見ている人たちにも伝わり、各地区の個性とパワーが感じられました。

街路灯をいただきました

7月9日、東北電力(株)十日町営業所（中條一所長）から、町に街路灯が10灯寄贈されました。

これは、同社の地域貢献のひとつとして毎年行われているものです。

町では、各地区の要望などをとりまとめながら設置場所を検討しているところですが、必要度の高い千手保育園前などに設置する予定です。



中條所長（左）から目録を受け取る高橋総務課長

7月24・25日にナカゴのベリースプーンでワークショップ「ベリーの絵皿を作ろう」が行われ、2日間で約100人が参加しました。

参加者は、ベリー園に植えてある36種類のベリーや写真などを観察しながら、2枚

ずつ絵皿を完成させました。可愛らしいお皿や、アートを感じさせる物などそれぞれ個性が光って、なかなかの出来栄でした。

このお皿は1枚は参加者へ、もう1枚はベリーハウスでヨーグルト皿等に使われ、訪れた人たちを楽しませてくれるそうです。



う～ん、次はどの色にしようかな！

ベリーの絵皿作りに
大勢参加しました

先月 13 日からの、いわゆる「7・13 梅雨前線豪雨災害」で多くの被害があった中之島町、三条市に、川西町からも多くのボランティアが参加し、被災した住宅や商店などの片づけ作業や医療活動などに従事しています。

このうち、7 月 16 日には、役場職員 6 人と社会福祉協議会職員 1 人の合計 7 人が参加し、中之島町の高齢者世帯の家の片づけを手伝いました。

家の片づけといっても、床上まで上がった濁流の残し物、つまり泥の撤去が作業の中心でした。

床板をめくり、小ぶりのバケツで泥をすくって大きめのバケツに移し、バケツリレーで家の外に運び出すという作業を繰り返しました。

家族や親戚の人を含めて 10 人で一日がかりで作業をしても、家一軒の半分も進まず、参加者は、災害の恐ろしさを改めて実感していました。



手作業で少しずつ泥をすくいます

これらのボランティア活動は、社会福祉協議会が事務局となって主に土曜・日曜に実施され、7 月中に延べ 40 人あまりが参加し、トラック一台分の野菜や米も届けられました。

これとは別に、県からの派遣要請に基づき、高齢世帯の訪問対応のために保健師 4 人も三条市で活動をしました。

また、日本赤十字社新潟県支部でも義援金を募り、窓口になっている役場住民福祉課には、7 月末現在で 26,560 円が届けられています。

豪雨災害被災地に 町内からボランティア参加



泥の捨て場は道路しかありませんでした

藤巻さんに交通安全 功労者表彰

藤巻浩三さん（80・発電所通り西）が、このほど新潟県交通安全対策連絡協議会（会長平山征夫新潟県知事）から交通安全功労者として表彰されました。

藤巻さんは、川西町交通安全協会に二五年間所属し、その間交差点等での交通弱者に対する保護・監視活動や、高齢者への安全指導、広報車による広報活動など、交通安全に終始誠実かつ積極的に取り組んでいることが高く評価されました。

また、運転者としても五〇年間無事故無違反で、運転者の模範となっています。

現在も、川西町交通安全協会千手支部長として交通安全の最前線に立つ藤巻さんの活動は、ますますレベルアップしていきそうです。



梅雨前線豪雨の猛威

町内でも多くの被害

中越地方を中心に多くの被害をもたらした先月十三日からの梅雨前線豪雨は、当町にも多くの爪あとを残しました。

七月十六日から十八日までに当町で観測された雨量は、十六日が一〇三・五ミリ、十七日が一〇五・五ミリ、十八日が二二・三ミリ、十六日から十八日までの累計で二二二・三ミリに達しました。

特に十七日は、十九時から二十時までに最大時間雨量三八・五ミリを記録し、十八時から二十時までの二時間に七二ミリという集中豪雨となりました。(降雨量グラフ参照)

一夜明けた十八日から調査が行われ、多くの被害が明らかになりました。

水路・道路ともに決壊した町道
田中藤沢線（藤沢地内）



山林、道路、水路ともに崩落した斜面（原田地内）

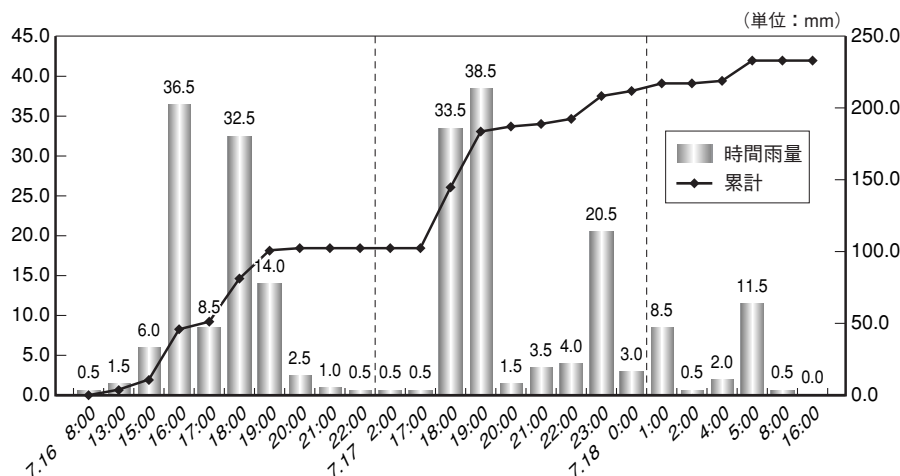
農道、農地などの農業施設被害は約一五〇か所・被害額約一億円、床上浸水一棟・床下浸水二一棟を含め、水道施設、農作物などの被害を合わせて約一〇〇か所・被害額約一億円、合計で約四五〇か所・被害額約五億円という大災害となりました。

このほかにも、国・県道の被害や、国の災害復旧事業の対象にならない小規模な災害も多数あります。町では、こうした農地等の小規模災害を自力復旧した場合に、事業費の五〇パーセント以内（補助限度あり）で補助金を交付する制度を設けて対応しています。



道路が欠落してガードレールが宙づりになった広域基幹林道
中魚沼丘陵線（仁田地内）

7月16日から18日までの時間別降雨量（川西ダム）



水路と水田をおおった大規模な土砂崩れ（岩瀬地内）



山腹から水が噴き出して土砂が流入した水田（星名新田地内）



第4回

花のアートコンクール 受賞者発表

「花でいっぱいの町に！」を合言葉に進められてきた花のアートコンクールは、今年で第4回を迎えました。

4月から栽培管理や視察も含めた講習会を月に1回、合計4回にわたって実施した結果、ガーデニング部門と新たに設けられたコンテナガーデン部門の2部門に、合わせて53作品の応募がありました。7月28日に厳正な審査が行われ、31日にひだまりプール前で表彰式が行われました。受賞者(団体)は右のとおりです。たくさんのご応募ありがとうございました。

なお、今回のコンクール作品は、8月20日(予定)まで「ひだまりプール」に展示されています(ガーデニング部門は写真による展示)。ぜひご覧ください。

■問い合わせ まちづくり推進課 ☎ 68-4952

◎ガーデニング部門…参加作品数：団体の部 10 作品・個人の部 16 作品

- 団体の部……最優秀賞 川西町交通安全協会女性部(山野田)
優秀賞 なかまの家(元町)
特別賞 千手小学校支援ボランティア(学校町)
- 個人の部……最優秀賞 田村ヒロミ(南台)
優秀賞 藤巻浩子(塩辛)・山下アイ(学校町)
特別賞 児玉ヨシ(学校町)・高橋芳江(学校町)
南雲要子(美咲町)

◎コンテナガーデン部門…参加作品数：27 作品

- 最優秀賞 櫃間ヒサ(中屋敷)
優秀賞 南雲豊子(東善寺)・児玉ヨシ(学校町)
清水ノリ子(学校町)
- 特別賞 上村幸子(上野)・小林加登(中屋敷)
高橋ミサオ(上野)・富井源蔵(上野)
富井久美子(上野)

ガーデニング部門

【団体の部】



◎最優秀賞
安協女性部(山野田)

【個人の部】



◎最優秀賞
田村ヒロミ(南台)



○優秀賞
なかまの家(元町)



○優秀賞
藤巻浩子(塩辛)



○優秀賞
山下アイ(学校町)

コンテナガーデン部門



◎最優秀賞 櫃間ヒサ(中屋敷)



○優秀賞 南雲豊子(東善寺)



○優秀賞 児玉ヨシ(学校町)



○優秀賞 清水ノリ子(学校町)

教室・講習

小出養護学校公開講座 のご案内

魚沼地域唯一の養護学校として、地域における特別支援教育センター的役割を担うべく、左記により公開講座を開催します。障害児教育に関心をお持ちの方は、ぜひご参加ください。また、ようご案内します。

■日程・時間・内容

八月二十三日（月）

◎午後二時半～四時半

◎「LD、ADHD等の軽度発達障害児の指導」

八月二十七日（金）

◎午後二時半～四時半

◎「障害児の学校卒業後の進路・就労」

八月三十日（月）

◎午後二時～四時

◎「発達障害児の行動問題の理解と積極的行動支援」

■申し込み

八月二十日（金）までにファックスか郵送にてお申し込みください。

■問い合わせ

小出養護学校

〒九四六―〇〇三五

北魚沼郡小出町大字十日町一

七三八―二
☎ 025-792-5412
FAX 025-792-9270

I・Hクッキングヒーター 体験教室



話題のI・Hクッキングヒーターの上手な使い方、便利な機能についての講習会です。ぜひ、ご参加ください。

■日時 八月二十一日（土）

午前十時半～午後一時

■内容

「夏休み親子パン作り教室！」

☆揚げたてのカレーパン

☆ドーナツ

■申込締切 八月十六日（月）

■募集定員 親子六組十二人

■参加費 一組一、〇〇〇円

■用意するもの エプロン

■会場 東北電力（株）十日町営業所

クッキングスタジオ「えぶろん」

■申し込み・問い合わせ

東北電力（株）十日町営業所

さまセンター

☎ 52-3107

募集

（社）あかね会施設職員 募集のお知らせ

社会福祉法人あかね会では、特別養護老人ホームあかね園に勤務する職員を募集します。健康で明るく、ボランティア精神に富み、老人福祉に理解と熱意を有し、深い愛情をもって利用者の援助にあたる人を募集します。

■募集職種・採用人員・資格等

職 種	採用予定人数	職務内容	資 格 等
看護職員 （正規職員）	若干名	看護業務に従事	昭和29年4月2日以降に生まれた者で、看護師又は准看護師免許取得者又は平成17年3月31日までに取得見込みの者
介護職員 （準職員）	14人	介護業務に従事	昭和34年4月2日以降に生まれた者で高校卒業程度以上の学力を有する者

■採用条件

① 広域六市町村に住所を有し、通勤可能な者。

② 普通自動車運転免許を有する者。

③ 早番、遅番、土、日、祝祭日勤務等変形勤務可能な者。

また、介護職員については、夜間勤務可能な者。

■試験等

【一次試験】

◎日時 九月十九日（日）

◎時間 午前九時～

◎会場 川西町地域活性化センター 四階 第一研修室

◎内容 一般教養試験、適性検査、作文

【二次試験】

◎日時 十月上旬

◎会場 特別養護老人ホームあかね園

◎内容 面接

◎採用予定日 平成十七年四月一日



■募集期間 八月十日（火）～九月九日（木）

■申込方法

あかね園備え付けの申込書に記入し、最終卒業学校の卒業証書（又は卒業見込書）の写しと、免許・修了証等資格証明書の写しを提出してください。

■申し込み・問い合わせ

〒九四八―〇一三六

川西町大字高原田二七八―一

特別養護老人ホームあかね園

☎ 0257-68-4565

皇居勤労奉仕団員 募集のお知らせ

十日町市皇居勤労奉仕団妻有会では第三十二回奉仕団の団員を募集しています。

■期日 平成十七年四月十一日から十五日までの四泊五日

（予定）

■団費 七三、〇〇〇円

■定員 五〇人

■締め切り 八月三十一日（火）

■申し込み・問い合わせ

川西町学校町 平野

☎ 68-2593

《平成 16 年度受験案内》

新潟県職員採用中級・初級試験
新潟県市町村立小中養護学校事務職員採用試験
新潟県市町村立小中養護学校栄養職員採用試験

■受付期間 8月10日（火）～9月1日（水）

■第1次試験日 9月26日（日）

■受験資格

①年齢

【中級試験・市町村立小中養護学校栄養職員採用試験】 昭和53年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた者

【初級試験・市町村立小中養護学校事務職員採用試験】 昭和58年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた者

②資格要件

【診療放射線技師】 診療放射線技師の免許取得者又は平成17年に行われる国家試験により免許取得見込みの者

【臨床検査技師】 臨床検査技師の免許取得者又は平成17年に行われる国家試験により免許取得見込みの者

【学校栄養職員】 栄養士の免許取得者又は平成17年3月31日までに免許取得見込みの者

■試験職種・採用予定人員等

区 分	試験職種	採用予定人員	職 務 内 容
中 級	診療放射線技師	1人程度	知事部局の本庁各課若しくは地域機関又は県立病院等で、それぞれの職種に応じた業務に従事します。
	臨床検査技師	5人程度	
初 級	一般事務	23人程度	知事部局、病院局、企業局、教育委員会等の本庁各課又は地域機関若しくは県立学校等で、行政事務に従事します。
	警察事務	4人程度	警察本部又は警察署で、警察事務に従事します。
	土 木	2人程度	知事部局、企業局等の本庁各課又は地域機関等で、職種に応じた業務に従事します。
小中養護学校事務職員	学校事務職員	25人程度	県内市町村立の小学校、中学校又は養護学校で、一般事務に従事します。
小中養護学校栄養職員	学校栄養職員	10人程度	県内市町村立の小学校、中学校又は養護学校で、栄養士の業務に従事します。

■申し込み・問い合わせ 〒950-8570 新潟県新光町4番地1

新潟県人事委員会事務局 総務課 任用係 ☎025-280-5538

平成 17 年度採用 新潟県職員採用考査受験案内

■受付締切 9月1日（水）

■第1次考査日 9月26日（日）

■考査区分及び職種等

区 分	職 種	受 験 資 格
上 級	助 産 師	昭和50年4月2日以降に生まれた者で、助産師の免許取得者又は平成17年度に行われる助産師国家試験により免許取得見込みの者
中 級	看 護 師	昭和50年4月2日以降に生まれた者で、看護師の免許取得者又は平成17年度に行われる看護師国家試験により免許取得見込みの者

■職務内容 県立病院等で看護業務に従事します。

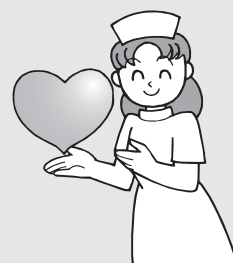
■採用予定人員 各職種あわせて80人～110人程度。

■その他 考査内容等詳細は直接お問い合わせください。

■申し込み・問い合わせ

〒950-8570 新潟県新光町4番地1 新潟県庁内

新潟県病院局総務課職員係 ☎025-280-5554（直通）



その他

コイヘルペスウイルス 病の発生とまん延防止 にご協力ください

全国的にコイヘルペスウイルス病が発生し、近隣では長野県千曲川水系の一部区域や広神村で発生が確認されています。この病気は人体に影響はありませんが、観賞用のものも含めて鯉にとつては感染力が強く死亡率が高いため、地域全体の問題にもなりかねない病気です。コイヘルペスウイルス病が町内で発生・まん延をしないよう次のことに注意してください。

- ①川や湖沼、池などで釣った鯉を、ほかの川や湖沼、池などに移動させない。
 - ②現在飼っている鯉、または死んだ鯉などを川や湖沼、池などに放したり捨てたりしない。
 - ③信濃川水系及び農業用水路からの鯉用飼育水の取水等の自粛をする。
- また、鯉の大量へい死など異常を見つけた方は左記までご連絡ください。

■連絡先 農林振興課振興係
☎68-4954

住宅金融公庫からのお知らせ



《七月十二日からの梅雨前線豪雨により住宅に被害を受けた方へ災害復興住宅融資のご案内》

住宅金融公庫では、次のとおり、新潟県内で住宅に被害を受けた方の住宅資金の融資及び返済に関するご相談を受け付けています。

■融資の対象

- ◎住宅を新築する方又は購入するする方。（住宅に五割以上の被害を受けた場合）
- ◎住宅を補修する方。（住宅に一〇万円以上の被害を受けた場合）

※市町村等が発行する「り災証明書」が必要です。

■融資金利（固定金利）

年二、一パーセント（平成十六年七月十六日現在）

■申込受付期間

平成十六年七月十六日（金）から二年間

■問い合わせ

住宅金融公庫北関東支店
〒三七一―八五八八
群馬県前橋市千代田町一―八

☎027-2332-6656

へホームページ

<http://www.jyukou.go.jp/>

《公庫融資をご返済中の方へ返済相談のご案内》

住宅金融公庫では、融資のご返済でお困りになった場合でも、安心して今後のご返済を継続できるように、返済相談を承っています。

また、お客様とのご相談により、返済期間の延長などお客様の状況に応じた返済方法の変更にも柔軟に対応していますので、お気軽にご相談ください。

■問い合わせ

住宅金融公庫北関東支店広報・相談係

☎027-2332-1111

へホームページ

<http://www.jyukou.go.jp/>

都市計画道路事業の認可に伴う関係図書の縦覧について

川西市計画道路事業三・四・一号中央通り線他一線の事業認可に伴う関係図書の縦覧を都市計画法第六十二条第二項の規定に基づき行います。

■都市計画事業の種類及び名称

川西市計画道路事業三・四・一号中央通り線（主要地方道小千谷十日町津南線）他一路線

■縦覧場所

川西市役場 建設課

■その他

事業認可に伴い、事業区域において都市計画法上の規制等（建築制限）が発生します。詳しくは左記へお問い合わせください。

■問い合わせ

川西市建設課都市計画係
☎68-4953

沖縄戦で亡くなられた方のご遺族へお知らせ

沖縄県糸満市の平和祈念公園内に、沖縄戦で亡くなられた全ての方々の氏名を刻んだ記念碑

「平和の碑」があります。次に該当する場合で、まだ刻銘されていない方は、追加刻銘ができます。

昭和十九年三月二十二日から昭和二十一年九月七日までの間、沖縄県区域及び南西諸島周辺において、沖縄戦が原因で亡くなられた方

詳しくは、市町村の戦没者遺族援護担当窓口か、新潟県福祉保健課援護恩給室までお問い合わせください。

●住民福祉課福祉係

☎68-4956

●新潟県福祉保健課援護恩給室

☎025-280-5180

第2回

芦の芽会会員作品展 開催中

- 期 間 8月24日（火）まで
- 会 場 千手郵便局ギャラリー
- お問い合わせ
☎68-2089 丸山まで

●投票結果

区 分	新潟県選出	比例代表選出
最終有権者数	6,469 人	6,478 人
投 票 者 数	4,971 人	4,973 人
投 票 率	76.84 %	76.77 %

●開票結果（届け出順／敬称略）

○新潟県選出議員選挙

氏 名	得 票 数
つ か だ 一 郎	1,643 票
こ ん ど う 正 道	1,389 票
くわはら加代子	419 票
田 中 な お き	1,414 票
（無 効 投 票）	106 票
計	4,971 票

○比例代表選出議員選挙（個人得票を含む）

政 党 名	得 票 数
み ど り の 会 議	44.666 票
自 由 民 主 党	2,206.333 票
女 性 党	62 票
社 会 民 主 党	311 票
維 新 政 党 ・ 新 風	3 票
公 明 党	466 票
民 主 党	1,435.998 票
日 本 共 産 党	185 票
（無 効 投 票 等）	259.003 票
計	4,973 票

参議院議員通常 選挙結果

— 7.11 川西町開票区 —

七月十一日に行われた参議院議員通常選挙の結果を報告します。

今回の参院選では、年金改革が最大の争点となりましたが、政府・与党が進める年金改革などに、有権者が厳しい判断をくだした結果となりました。

全国の投票率は、選挙区では前回（平成十三年実施）並みの五六％程度、新潟県では六三％程度で前回を一、五ポイントあまり上回りました。しかし、川西町で行う選挙としては今回が初めてとなる期日前投票（従来の不在者投票に代わる制度で、昨年十二月に導入。投票用紙を二重封筒に入れ署名するという形から、投票箱に直接投函する方式）という制度上の改正はあったものの、投票率は二ポイントほど下回りました。

川西町の結果は次のとおりです。



総合体育館で行われた開票作業

だんだん どーも！ 36

仙田楽楽市場の巻

「いやー、暑つつくてござつおだて。」

仙田体験交流館前で通年開店している「仙田楽楽市場」の店長小川二三さん（62・赤谷／写真中央）は、猛暑を素直に喜びます。野菜の出来もお客さんの出足も、冷夏だった去年よりも伸びるからです。

仙田楽楽市場は、仙田体験交流館がオープンした平成十三年七月から、地域でとれた農産物や山菜、木工品などを販売する自主運営の市場として営業しています。

オープン当初から市場を切り盛りしてきた小川さんは、「三年たって（生産者が）上手に出荷するようになった」といい、新鮮な野菜などが時期をずらしながら店頭に並べられるようになって、お客さんのニーズに比べられる体制が整ったことを実感しているようです。

地元のほか関東方面から



の行楽客、長岡市や柏崎市からの固定客も増え、最近では「新鮮」「低価格」の評判が口コミで広がって、「商売（飲食店）してる人が買いに来る」ことが多いとのこと。

そして、もう一つの魅力は家庭的な雰囲気。やはりオープン当初から市場を支える長谷川良子さん（52・赤谷／写真右）と、今年から加わった金子あつ子さん（53・岩瀬／写真左）は、「普通の家庭みたいなのに世間話をするのが楽しい」「お客さんも私たちも」と笑います。

「販売許可を取ったので秋から米も売ります」と小川さん。楽楽市場の挑戦は続きます。

川西町で初めての開催となる町民フットサル大会が、川西町サッカー協会の主催で七月十八日にスポーツパレス川西を会場に行われました。

参加チームは、一般男子または中学生以上の女子による男女混成で、六人チーム約五五人が、二つのブロックで予選、その上位同士により決勝という方法で熱戦を繰り広げました。

フットサルというのは室内サッカーのことで、競技者はゴールキーパーを含め五人です。

前半後半七分ずつで、バスケットボールなどのように試合中に何人でも何回でも自由に選手交代できるので無理をしないで楽しめるようになっていきます。

また、サッカーにはオフサイドというペナルティがあります。フットサルにはありません。大会の結果は次のとおりです。

〈決勝戦〉 上野アルビレックス2・1（同点延長）川西工業（三位決定戦） 川西町商工会 青年部3・2十七夜祭りの翌日



〈五位決定戦〉 橋トウサンズ

0・0（PK2・0）橋アマゾネス（Ⅱ女性だけのチーム）

それから、大会の一週間後に参加チームの代表者から集まっていたで反省会・懇親会を行いました。初めての大会でしたので、皆さんから感想や意見を聞くことができ参考になりました。次回も多くの皆さんからご参加いただきたいと思います。

●お問合せ先 川西町教育委員会内 川西町体育協会事務局

68-2167

痴呆を早期発見しよう

「年をとっても痴呆にはなりたくない」と思っている人は多いと思います。痴呆症は、六五歳以上の十人に一人といわれ、高齢になるほど多くなっています。

痴呆とは、ふつうに生活できていたのが、何らかの障害によって生活に支障がでるほどの知的な機能が低下した状態です。

問診・CT・MRI検査等により診断され、主に脳血管性痴呆とアルツハイマー型痴呆があり、病気の経過に多少の違いがあります。

加齢に伴う物忘れの場合、後から思い出したり、判断力・理解力もしっかりしていています。痴呆という病気では、お昼を食べたことや、人に会ったことなど、体験の全部を忘れていきます。

物忘れなどがあっても「年のせいだ」と思うことが多いようですが、早期発見が大切な理由として、次の三つがあります。

①治療すれば治る痴呆がある
慢性硬膜下血腫や脳腫瘍、ビタミン不足などの体の病気

が原因のときは、回復が望めます。

②アルツハイマー型は治療薬が登場

アルツハイマー型痴呆の場合、治療薬を使うことによって、一時的に症状を改善させたり、一年程度ですが痴呆症状の進行を遅らせることができます。

③本人と家族に余裕が生まれる

本人にとっては、病気が進んだ時にどうしてほしいかなど、前もって自分の意思を伝えられます。家族も専門家に相談することにより、痴呆や

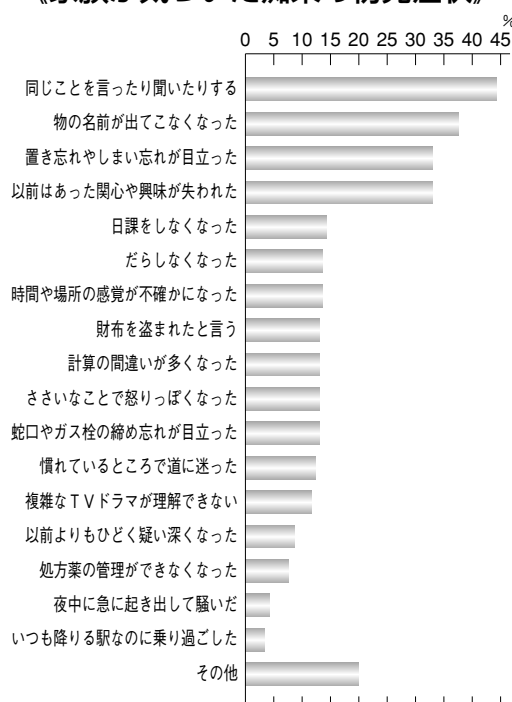
介護サービスについての正しい知識が得られ、新しい症状に振り回されることが少なくなります。

できるだけ早期の段階から見つけて、何らかのかかわりを行うことによって進行を抑えることが行われるようになってきています。

家族が気づいた痴呆の初発症状は、図のとおりです。このような変化が最近目立ってきたら要注意です。「おかしいな」と思ったら、かかりつけ医や専門医（各医療機関の精神科・神経内科など）に相談してみましょう。

また、けんこう支援課健康推進係、在宅介護支援センターにお気軽にご相談ください。

《家族が気づいた痴呆の初発症状》



◆訂正します◆
先月号善意欄、根津石三さんの住所
(上野)が(伊友)と誤記されていました。
お詫びして訂正します。

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

高野	高野	星野	上村	今井	高橋	田中	小杉	野崎
キヨ	倉之助	キヨ	ソノ	研一	ミサ	悠都	真央	真生
92(初江)	88(本人)	75(勇吉)	79(健三)	53(本人)	69(一能)	美由紀	宏美	仁三
中仙田	上野	上野	上野	仁田	坪山	南台	みのり団地	橋教員住宅



かわいし俳壇

高崎正風選

学生等顔黒々と夏休み
野菜みな暑さに負けぬ育ちかな
朝風の涼しいうちに野菜取る
夏の月鮮やかにして湖上かな
朝顔のとなりに伸びて花一つ

八王子市 松浦 サク

渡辺 大成 智希 東善寺
佐藤 千佳 栄子 沖立
富井 沙和 文隆 上野

高砂—ご円満に

丸山 一樹 新町新田
幅下 ちづる 小千谷市
和久井 直也 木落
鈴木 沙織 東京都

(7月1日—31日届け出順)

休日救急医

8月15日 山口医院
(十日町市下条中央)
☎ 55-2003
22日 大坪医院
(十日町市四日町新田)
☎ 57-6100
29日 庭野医院
(十日町市寿町4)
☎ 52-2711
9月5日 田中外科医院
(十日町市田中町本通)
☎ 52-2403
12日 本町クリニック
(十日町市本町3丁目)
☎ 50-1160
" 上村病院
(中里村田沢)
☎ 63-2111

■表紙の写真

合併調印の署名(下左)を終え、川上県副知事を中心に手を握り合う5市町村長(上)と、万歳三喝をする5市町村議会議員(下右)。ここからが真の意味での合併の始まりです。

???クイズです???

「2003 町勢要覧」に記載されている内容を中心にクイズを出しています。

<信濃川の水を利用して、昭和14年に完成した鉄道省(当時)の施設は?>

ヒント:全戸配布した町勢要覧をよく読んでください。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り…8月23日(月)

<7月号の答え>

「千手町」

今回は、正解者の中から抽選で、次の方々に記念品をプレゼントします。(敬称略)

田中清一(木落)、桑原要雄(新潟市)、高野英雄(横浜市)、齊木清文(神奈川県相模原市)

山百合の花ひととの匂ひかな 元町 田畑 吉治
冷奴老の自慢の料理かな 永平寺大読経の蟬しぐれ 墓の兵みな若かりき敗戦日
奥入瀬も樹海ラインも合歡の花 練馬区 須藤 遊人
厨暗く清水湧きあし母の里 盆支度嫁遅しくなりにけり 上町 高橋 願似
白露の蜘蛛の囲光る青田かな やせ砥石大事に使ふ谿若葉 月落ちてより短夜の深眠り 新町新田 若山 向山
破れいし網戸眺むる大暑かな 昼顔に巻きつかれたる一樹かな 蝙蝠が飛んでいるよと孫を呼ぶ 野口 村越 由喜
夏帽の風を押さえて美しき 梅雨の富士束の間見えて満足す 浅草の仁王の迎う酷暑かな 霜条 星名 星光
遠雷に心急かされ薯を掘る 豊作の梅干す策の三つ四つ 小白倉 江口みゆき
涼を呼ぶ笥の小さき水の音 花空木多く明るし道陰し 新しき畳の上の大昼寝 砂浜に波穏やかな海の家 木洩日の夕日となりし涼しさよ 涼風が揺れる紫鉄線花
法鼓鳴る伊勢の内宮緑り満つ 分校に夕陽斜めや青鬼灯 どの庭も紫陽花ありて歩を止める 水を打つ手元に小さき虹立てる 蝉は木にとんぼは飛べる夏げしき 日ぐらしのないて一と日の暮れにけり 帰省子の部屋に風鈴吊し置く 雨口説き暑さを口説く日のつづく 大水の爪跡残し梅雨上る 予期せざる集中出水とまどえる
岩瀬 登坂伊智子 野口 村越 こう 小白倉 田中 優美



「ホテルを見に行ったよ」
2年生 藤田 健也



「なかよしの魚さん」
1年生 滋野 凌



「おしゃれなへび」
3年生 江口 美奈



▶「明るく炎」

4年生 田口 邦衛



「カラフルマンボウ」
5年生 丸山 秀也



▶「未来のぼく」

6年生 和久井 冬樹

(9月号は仙田小学校です)

● さいばいしやせいの
 浜海川沿いの地層の露頭だ。
 決してペンキを塗ったわけ
 はない。現実の姿を撮影した
 だけだ。



仙田地区の地形は、地層が横
 からの圧力によってしわのよう
 に湾曲する褶曲(しゅうきよく)によっ
 て形成されている。ヒマラヤ山脈やアル
 プス山脈と同じ構造だ。

だから、古い地層が地上に表
 れ、浜海川によって削られた崖
 に露出している。チンタフとい
 う世界に数例しか発見されてい
 ない層も見ることが出来る。

この地層は先月の豪雨で増水
 した際に表面が洗われて、この
 ようにあざやかに発色したよう
 だ。

自然の世界は奥深い。

㊦